

WPI-AIMR 賞

学都「仙台・宮城」サイエンス・デイでは、今年度から、出展者に対して様々な視点から評価し表彰できる「サイエンスデイ AWARD」の制度が始まり、当機構、山本嘉則機構長が「WPI-AIMR 賞」を新設しました。WPI-AIMR 独自の基準により審査し、「未来を拓く光輝くプラズマを触ってみよう！」を出展した東北大学 大学院工学研究科 富山・金子研究室を表彰しました。7月19日（日）に東北大学片平さくらホールで行われた表彰式において、山本機構長から表彰状のほか、副賞として、WPI-AIMR 機構グッズ、ならびに WPI-AIMR 新本部棟ラボツアー特別ご招待状が贈られました。



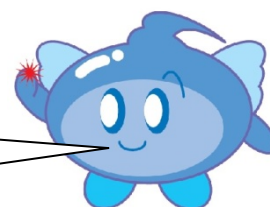
審査基準：

東北大学 WPI-AIMR では、材料に関わる世界のトップレベル研究者が集まり、原子・分子という微小な世界を十分に理解して、それを操作することによって新しい材料を作り出す、最先端材料科学の構築を目指しています。この当機構の研究理念に共通するような何かを感じられる出展に対して、本賞を贈呈したいと考えています。もちろん、物質・材料分野に限定するものではなく、意外な発想で、私たちの研究に刺激を与えていただけるような出展に出会えることを期待しています。

受賞理由：

プラズマはフラレンやカーボンナノチューブなどの新物質・材料創製に力を発揮し、材料科学の研究拠点である私共 WPI-AIMR にとっても、大変魅力のあるものです。これは、「原子・分子という微小な世界の理解、操作によって新材料を創製し社会に貢献するという当機構の研究理念に共通する何かを感じられるもの」という本賞の審査基準を十分に満たしています。そして、今回何よりも感心したのは、本格的な実験装置を持ち込んで、子供たちが本物のプラズマを見て、触って、体験できるように準備されたこと。大変なご苦労だったと思います。謹んで本賞を贈呈し、その功績を称えたいと思います。

富山・金子研究室の皆様、
おめでとうございます。



東北大学原子分子材料科学高等研究機

WPI*AIMR

